

**テクニカルニュース**

96年10月14日

**表題** A6SIM-X64Y64 をご使用いただくときの制約事項についてのお知らせ

**適用機種** A6SIM-X64Y64

平素は、三菱汎用シーケンサ MELSEC-A シリーズに格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

シミュレーションユニット A6SIM-X64Y64 をお使いいただくときに制約事項がありますので、内容についてご連絡いたします。

(1) (制約事項)

基本ベースの出力ユニットを A6SIM-X64Y64 でシミュレーションする場合は、すべての増設ベースにアキスロットができないようしてください。増設ベースに1箇所でもアキスロットができると、基本ベースの出力をシミュレーションする A6SIM-X64Y64 の出力用 LED が正しく表示できなくなります。

・対象シーケンサ CPU

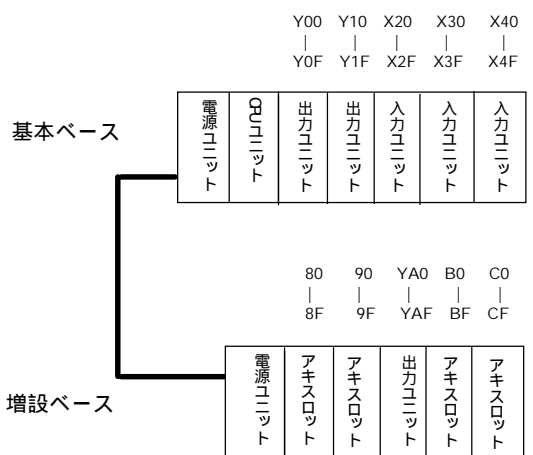
AnNCPU ( 入出力制御方式はリフレッシュ方式 ) , AnACPU , AnUCPU , QnACPU  
( AnNCPU(ダイレクト方式) , AnSCPU , A2USCPU , Q2AS(H)CPU は対象外です。 )

・不具合が発生する構成例

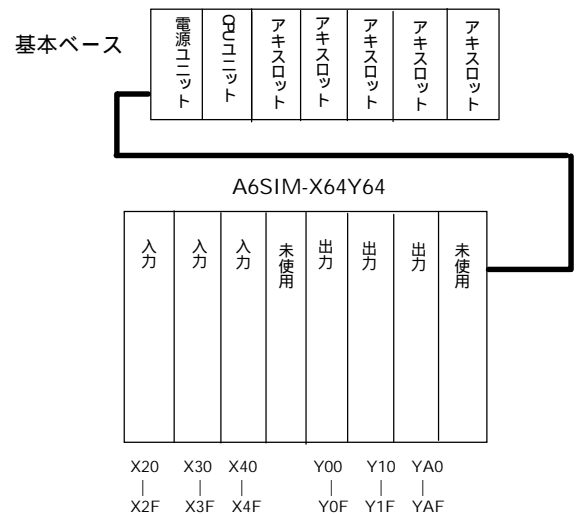
( 実際のシステム構成 )

( A6SIM-X64Y64 によるシミュレーション )

アキスロットは、A6SIM-X64Y64 でシミュレーションしていません。( 未使用部分 )



すべて16点ユニットを装着時



不具合の発生

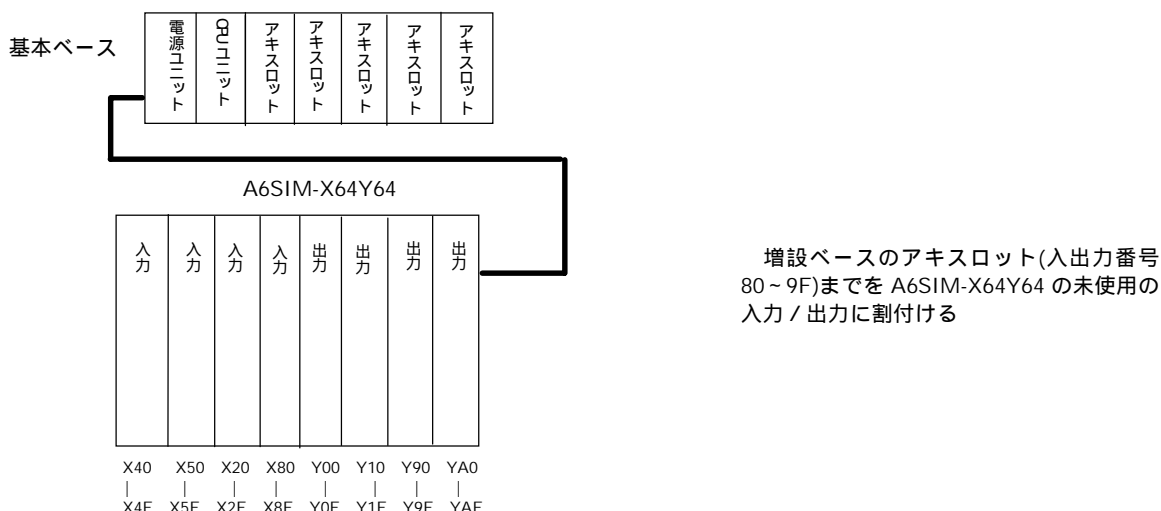
(対策)

A6SIM-X64Y64 で基本ベースの出力をシミュレーションする場合、増設ベース上のすべてのスロット番号に必ず A6SIM-X64Y64 で入力 / 出力を割り付けるか、または増設ベースを接続してすべてのアキスロットに入力 / 出力 / 特殊機能ユニットを装着してください。

また、AnNCPU (リフレッシュ方式) の場合は、パラメータの I/O 割付けでアキスロットのスロット番号に出力を割り付けても対策が可能です。

AnACPU, AnUCPU, QnACPU の場合は、パラメータの I/O 割付けで割り付けを行っても対策できません。

・対策した構成例



(2) (制約事項)

AnNCPU の場合、パラメータの I/O 割付けでベースユニットに装着されるすべての入力ユニット / 出力ユニット / 特殊機能ユニット / アキスロットの I/O 割付けを必ず行ってください。割付けを行わない場合、A6SIM-X64Y64 が正常にシミュレーションできません。

(対策)

AnNCPU の場合、パラメータの I/O 割付けでベースユニットに装着されるすべての入力ユニット / 出力ユニット / 特殊機能ユニット / アキスロットの I/O 割付けを必ず行う。

(3) (制約事項)

A6SIM-X64Y64 は、Q4ARCPU による二重化システムでは使用できません。

(対策)

対策はありません。

(4) (制約事項)

Q4ARCPU の単独システムで電源二重化ベースを使用している場合、A6SIM-X64Y64 はシステムの最終段に装着してください。システムの途中に A6SIM-X64Y64 を装着すると、A6SIM-X64Y64 以降の二重化した電源の一方がダウンした情報を、CPU が読み出せません。

(対策)

A6SIM-X64Y64 は、すべての電源二重化用増設ベースのあとに装着してください。

(5) (制約事項)

基本ベースに A37RHB, A1S38HB, A38HB を使用して A6SIM-X64Y64 を装着した場合、A6SIM-X64Y64 は増設ベースにしか割付けできません。基本ベースに割り付けても、シミュレーションを行えません。

(対策)

対策はありません。